

知事コメント

令和3年4月19日（月）

- 1 本日、沖縄県内で新たに32名の新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されました。ただ、この数字につきましては、再検査が必要な検体が他にも多数あるということで、本日の正式な数としては、まだ認定されておりません。なお、再検査等に関しては、このあとのブリーフィングでご確認をいただければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。さて、沖縄県では緊急特別対策として、4月1日から時短要請などの対策を講じ、さらに12日からは、政府からまん延防止等重点措置区域の指定を受け、県内全域の飲食店等を対象に営業時間短縮を要請するなど、様々な対策を講じておりますが、連日100人を超す陽性者数が確認され、先週土曜日には過去最多の167人となるなど、過去最大の流行を迎えています。
- 2 感染の急拡大により、県内の医療提供体制は、深刻な状況となっております。新型コロナウイルス感染者の急増に対応するため、4月3日から沖縄本島内の医療フェーズを5へ、宮古・八重山地域の医療フェーズを4に引き上げ、医療機関の皆様は病床の確保をお願いしているところですが、感染拡大に歯止めがかかっておらず、病床占有率も高水準で推移しています。特に、本島内においては、重症化した患者の入院調整が困難を極めるなど、病床の確保が喫緊の課題となっております。
- 3 県としては、今回のように想定以上の患者数が発生する事態や、急激な感染拡大に対応するため、本日、新型コロナウイルスの感染拡大時における緊急的な措置方針として「感染者急増時の緊急対応方針」を決定し、コロナ対応体制の拡充を図ることといたしました。
- 4 当該方針の詳細については、医療機関の皆様と調整させていただくこととなりますが、県内の感染状況や変異株が相次いで確認されていること等を踏まえると、厳しい状況はこれからも続くことが予想され、一般医療の一部制限も含めて緊急的な医療提供体制を早急に検討する必要があります。そのためには、コロナ病床の確保だけでなく、コロナ以外の患者を受け入れていただく後方支援医療機関の整備も含めて、全ての医療機関のご協力が不可欠となります。各医療機関に協力をお願いするため、本日夜刻に、関係病院長会議を開催いたします。
- 5 医療提供体制がひっ迫しているなか、医療機関の皆様はさらに厳しいお願いをせざるを得ない状況となっており、心苦しい限りです。県民の皆様におかれま

しても、不要不急の救急受診は控えてくださいますよう、お願いします。ただし、意識障害や呼吸困難等、いつもと明らかに違う症状がある場合は、ためらわずに医療機関を受診してください。また、小児、子どもの場合は #8000 を、コロナの症状が疑われる場合にはコールセンター（098-866-2129）もご利用ください。

- 6 現在、県内全域の飲食店等に対して営業時間短縮を要請しています。時短要請の実効性を高めるため、県や各市町村、関係団体や調査会社が見回り活動を実施しています。およそ 98%以上の飲食店等が時短要請に協力いただいていると報告を受けております。ご協力に感謝いたします。しかし、協力いただけていない店舗については、順次リストアップもしている状況です。いくつかの店舗に対しては、既に職員が店舗を現地確認し、是正を要請しています。しかし、いずれの店舗も時短要請の対象であることを自覚していらっしゃるながら、営業を続けており、多くのお客さんが集まってマスクをせずに飲食をしている状況にあります。重ねて感染拡大の防止へのご協力を宜しくお願いいたします。
- 7 県民の皆さんには、不要不急の外出自粛をお願いしています。当然、夜8時以降に飲食店等を利用することも自粛をお願いしています。利用客がいる限り、店舗は営業を続けてしまいます。感染も拡大します。そしてもしかしたら、あなたや、あなたの大切な人が、新型コロナに感染してしまうかもしれません。コロナ以外の病気や怪我を負ったときに入院ができないかもしれない、という状況も生じてしまいかねません。
- 8 沖縄には「ゆい」、いわゆる「ゆいまーる」、「お互いに助け合う」という思いと行動があります。地域や世代を超えて繋がる優しさが、私たちの島にはしっかりと残されています。人と人との繋がりが、拡大防止のためにも強さを発揮するものと信じています。家族や友人、部下や同僚が飲み会などに行こうとしている場合は、気がついた方から、今は慎むよう声を掛けてあげてください。
- 10 現在、変異株という新たな脅威もありますが、我々には、感染経路に関する知見があります。接触感染と飛沫感染それを防ぐために、手指の消毒、手を洗うこと、マスクをすること、人と人との距離をあけること、会話をするときもできるだけ1 m以上の距離を取ること、室内や社内は、時々窓を開けて、換気を行うこと、密集する場所は避けること、などなど、これまでも確認してきた知見が、私たちはすでにその知見を得ています。さらにこれからは、ワクチンという切り札もあります。そして新たに、また感染対策に協力していこうという飲食店づくりも進めています。それでもやはり最大の鍵は私たち一人ひとりの、意識と行動にかかっています。あなたを大切な人を守りたい、ぜひご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。